

指定管理施設事業評価票(平成30年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市杉並木公園ギャラリー			
	所在地	日光市今市533番地5			
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社			
	代表者名	代表理事 阿久津 正			
	住所	日光市瀬尾1640番地22			
指定期間		平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年間
選定方法		公募		評価実施年	5年間のうち3年目
施設設置目的		美術、書道、写真、工芸等の展示及び鑑賞の場を市民に提供し、もって市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民文化の振興に寄与するため、日光市杉並木公園ギャラリーを設置する。			
主な実施事業		市民への絵画、書道、写真等の作品展示・鑑賞事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入場者数	人	17,000	15,656	17,300	13,258	17,300	11,391				
b	利用件数	件	50	48	51	45	51	42				
c	施設稼働日数	日	300	287	303	263	303	262				
d	施設利用者満足度	%	80	93.8	81	94.9	81	94.9				
e	接遇満足度	%	80	93.8	81	97.4	81	100				

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
収入計 A	4,600,000	4,600,000	4,600,000	0	0
指定管理料	4,600,000	4,600,000	4,600,000		
利用料収入 C					
自主事業収入					
その他					
支出計 B	2,966,382	4,346,871	4,497,015	0	0
指定事業費	2,966,382	4,346,871	4,497,015		
内人件費 D	1,426,889	813,800	1,001,196		
内外部委託費 E	1,539,493	3,533,071	3,495,819		
自主事業費					
事業収支 A－B	1,633,618	253,129	102,985	0	0
人件費率 D／B	48.10%	18.72%	22.26%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B	51.90%	81.28%	77.74%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

施設内外の環境美化(清掃、花・樹木の剪定)に努め、快適な施設提供を実施した。併設の上今市駅利用者への観光案内・パンフレットの提供により、市内観光に役立てた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
②サービスの質の評価	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	C	C	
	総括	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B	
	③安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	C	C
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
環境配慮		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	A	
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
所見 (成果・課題等)	広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
		利用実績は、目標水準である。	C	C	
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B	
		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
(指定管理者自己評価)					
昨年に引き続き、利用者に快適な施設提供ができるよう、館内の備品を常に整備し、施設内外の環境美化に努めた。また、展示会初日の準備のため30分					
早開けをしたり、会場設営、撤去に協力するなど利用者への利便性向上を図った。催事情報についても、従来通り市広報、各新聞社、公社ホームページ等					
において周知を図り、また公社主催による作品展を4回開催するなど、施設の利用促進、入場者増加に努めたが、利用団体の高齢化と固定化が進み、入場					
者の減少が続いた。今後は、利用者に不便をきたさないよう、よりきめ細かな施設管理を行うとともに、新たな利用者の開拓にも取り組みたい。					
(所管課評価)					
利用件数は目標に達しなかったものの、施設の稼働率は73.6%であった。また、入場者数は前年度より減少しており、目標値を大幅に下回っていることから、					
今後は、貸出ない日を利用し、指定管理者独自の魅力ある展示を企画するとともに、入場者増を図るため催事情報等の周知活動に力を入れる必要がある。					
利用者満足度、接遇満足度共に目標値を超えている。特に接遇満足度においては100%で、全ての利用者から満足いただいていることに対し、大いに					
評価できる。引き続き、利用者が安心して使用するため施設の清掃等を徹底し、日常の維持管理及びお客様に接する職員の実の向上を目指した管理					
運営を行っていただきたい。					
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C 以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。